

# 常任委員会 Q & A

小美玉市議会には3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）があります。議員はいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。12月定例会で議案審査を行いました。委員会での主な質疑応答の内容についてお知らせします。

## 総務

(委員)  
田田 村 楓 本 仲  
村 戸 市 大 岩 谷

### ◎特定任期付職員

**Q** 特定任期付職員とは。  
**A** 高度な専門知識、経験、又は、優れた識見を有するもので、一定の期間特に必要とされる業務に従事することができる者。

### ◎小美玉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

**Q** 非常勤職員の報酬は、性質別経費の中の物件費からだとされるが、会計年度任用職員の報酬は人件費から出される。ラスパイレース指数への反映は。  
**A** 現時点で会計年度任用職員を基礎データに含めるかは未定。

※ラスパイレース指数・・・  
国家公務員との比較で地方公務員の給与水準を表す指数。

### ◎小美玉市部等設置条例の一部について

**Q** 新しく部を設置するにあたりどのような意見があったのか。

**A** 教育委員会から、市長部局に移動するため、教育委員会と引き続き連携を図りながら、「生涯学習推進計画」及び「スポーツ推進の推進計画」を推進したい、組織の見直しについては市民への周知を十分に図りたい等の意見があった。



▲総務常任委員会の審議の様子

## 12月定例会(傍聴者数)

日程	会議等の主な内容	傍聴
2日	本会議(開会、議会人事案件)	4名
4日	議会運営委員会(会期日程調整)	-
5日	本会議(議案上程) 広報特別委員会	2名
11日	本会議(一般質問)	26名
12日	本会議(一般質問)	4名
13日	本会議(一般質問、質疑、委員会付託)	1名
16日	総務常任委員会	-
17日	文教福祉常任委員会	-
18日	産業建設常任委員会	-
20日	議会運営委員会 全員協議会 本会議(委員長審査報告採決、閉会)	1名

※傍聴には、簡単な受付が必要です。  
(氏名・住所・職業・年齢の記入)

## 文教福祉

(委員) 村津川 島谷 木取  
木長 小長 幡 植 香

### ◎地域包括支援センター運営協議会

Q 介護保険関連条例の今回の一部改正の理由は。

A 『介護保険等運営協議会』に、これまで同一の委員で構成され、各々行っていた「地域包括支援センター運営協議会」、「地域密着型サービス運営委員会」をひとつにまとめ円滑に会議を進めていく。

### ◎小美玉市教員教育研修基金

Q この基金の使途及び目的は。

A 教員の総合的な教育力向上のための教育研修講演会に必要な資金を目的とする指定寄付金を積み立て、講演会を令和3年度から実施する。



▲文教福祉常任委員会の審議の様子

### ◎生活支援事業 外出支援サービス事業

Q 今回の補正は利用者の増加が要因か。

A 利用条件は、70歳以上または60歳以上で身体障害者手帳を所持している方で、運転免許証を持っていないまたは自主返納された方となる。昨年度1年間では1039人のところ、今年度は12月現在で1104人となっている。自主返納の意識も広がっており、今後も利用者の増が見込まれるため。

## 産業建設

(委員) 川田 村 村 島 井  
荒島 野田 福 石

### ◎家畜防疫推進経費

Q 豚コレラ侵入防止緊急対策事業費補助金の想定件数は。

A 市内には20の養豚経営体があるが、2経営体が廃業を予定しているため、18経営体への補助を想定している。

※豚コレラ侵入防止緊急対策事業費補助金・・・  
養豚農場に野生動物侵入防止用の柵を整備し、豚コレラウイルスの侵入を防止するために、事業費の2分の1を国、4分の1を県、8分の1を市が補助することに、生産者は事業費の8分の1で防護柵を設置することが可能となる補助事業。



▲産業建設常任委員会の現地調査（小岩戸）

### ◎公共下水道事業

Q 水道管移設補償費の増額理由は。

A 下水道整備の際、水道管の図面と照らし合わせて移設補償費等を予算化している。今回は断水工法やループ形状による型押しでの工法を想定していたが、民家が多いため仮設管を使用して水を供給しながらの工事に変更したため。